

●世界の主な地震

平成 26 年（2014 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

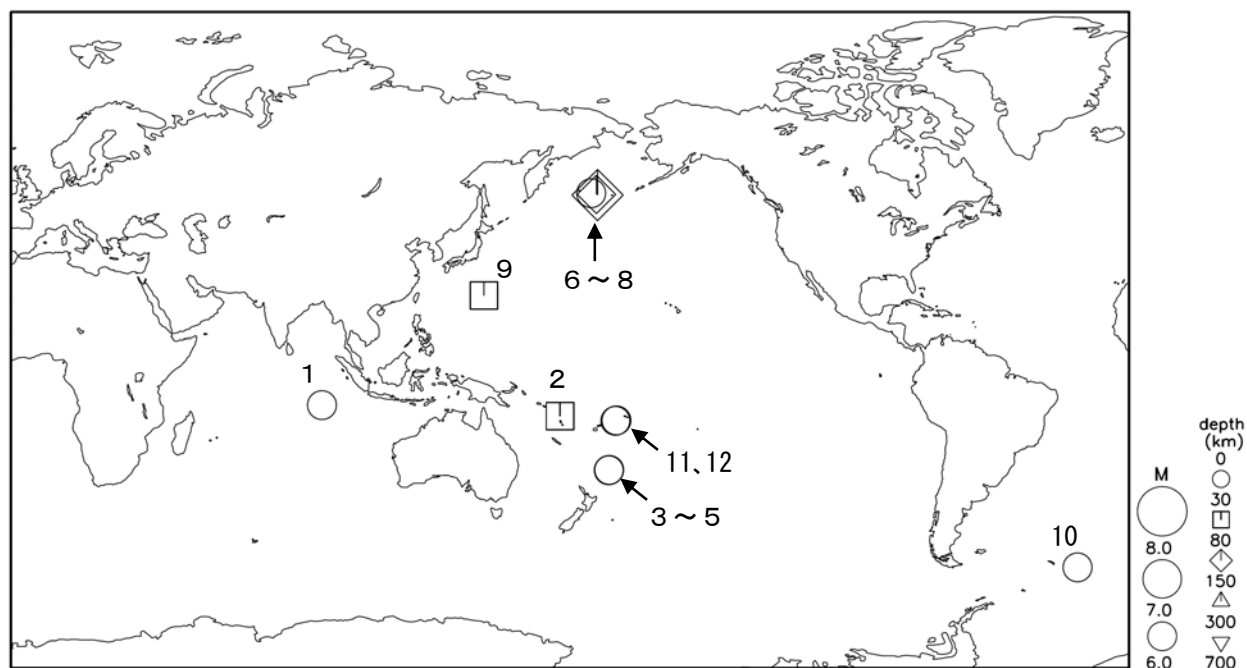


図 1 平成 26 年（2014 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 7 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 26 年（2014 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	06月14日20時11分	S10° 03.3′	E91° 03.3′	7			6.4	南インド洋			
2	06月19日19時17分	S13° 34.6′	E166° 49.5′	60			6.4	バヌアツ諸島			
3	06月24日04時19分	S30° 07.0′	W177° 40.2′	20			(6.9)	ケルマデック諸島	ケルマデック諸島のラウル島で13cmなどの津波を観測		○
4	06月24日04時21分	S30° 01.5′	W177° 38.3′	20	6.3			ケルマデック諸島			
5	06月24日05時06分	S29° 57.7′	W177° 31.3′	20	6.2			ケルマデック諸島			
6	06月24日05時53分	N51° 47.8′	E178° 45.6′	107			(7.9)	アリューシャン列島ラット諸島	アリューシャン列島のアムチカ島で17cmなどの津波を観測		○
7	06月24日06時11分	N51° 57.9′	E178° 24.7′	107	6.0			アリューシャン列島ラット諸島			
8	06月24日12時15分	N52° 15.1′	E176° 42.9′	4			6.3	アリューシャン列島ラット諸島			
9	06月29日14時56分	N24° 31.0′	E142° 26.8′	139		(6.4)	(6.2)	硫黄島近海			
10	06月29日16時52分	S55° 30.3′	W28° 27.0′	16			(6.9)	サウスサンドウィッチ諸島			○
11	06月30日00時52分	S14° 54.5′	W175° 14.6′	10			6.4	サモア諸島			
12	06月30日02時15分	S15° 02.5′	W175° 34.0′	10			6.7	トンガ諸島			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2014年7月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Ms の欄に括弧を付して記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005年5月号参照）を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

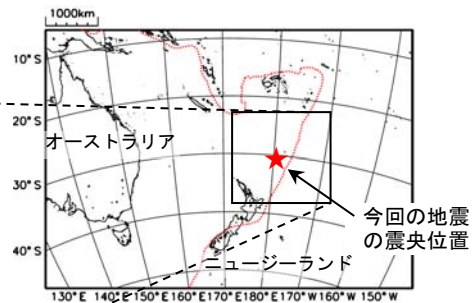
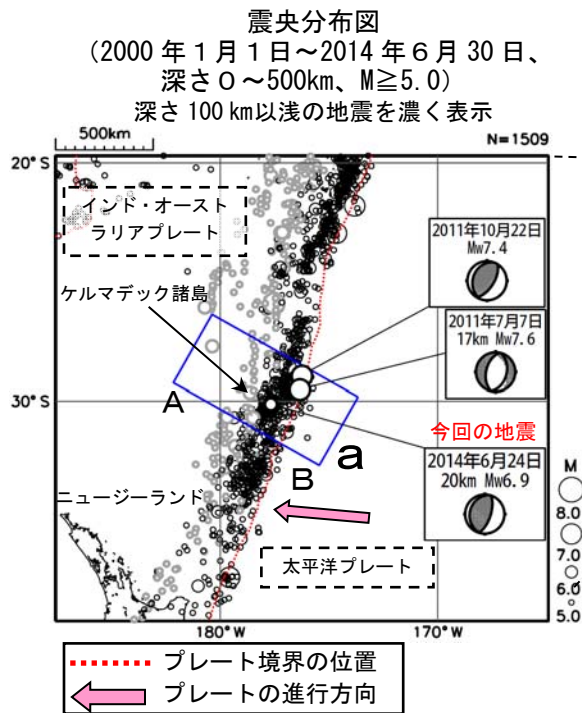
6月24日 ケルマデック諸島の地震

2014年6月24日04時19分（日本時間、以下同じ）に、ケルマデック諸島の深さ20kmでMw6.9の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込む太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生した。

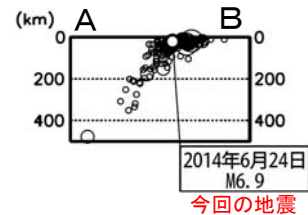
気象庁は、この地震により、同日04時47分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

この地震により、ケルマデック諸島のラウル島で13cmなどの津波を観測した。

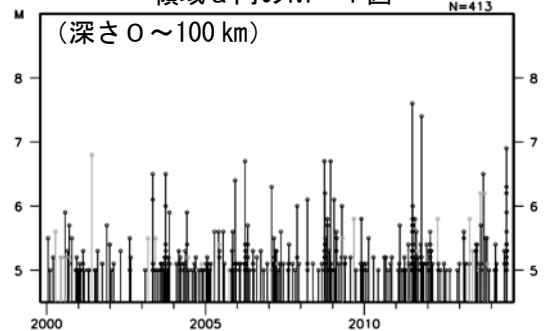
1950年以降の地震活動を見ると、ケルマデック諸島周辺では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、今回の地震の震央付近では1986年10月20日にM8.1の地震が発生した。また、2011年7月7日にMw7.6の地震が発生し、ケルマデック諸島のラウル島で1.2mの津波が観測された。



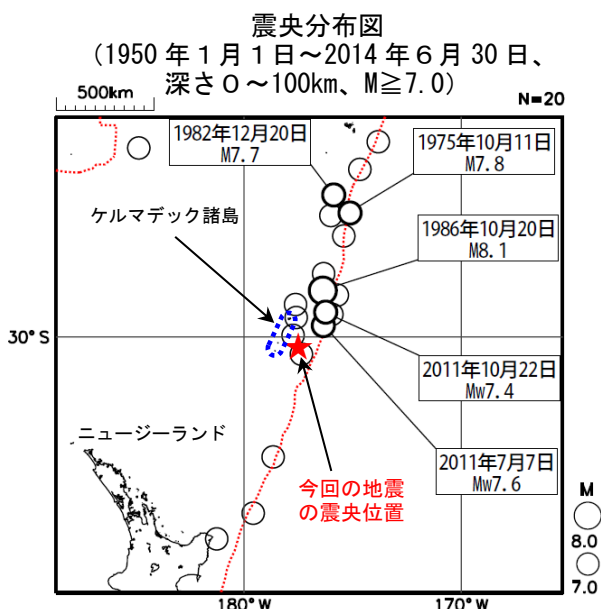
領域a内の断面図（A-B投影）



領域a内のM-T図



左図領域内のM-T図



※本資料中、今回の地震、2011年7月7日の地震、2011年10月22日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、1950年から2009年までは国際地震センター（ISC）、2010年以降は米国地質調査所（USGS）による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（6月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027. doi:10.1029/2001GC000252.

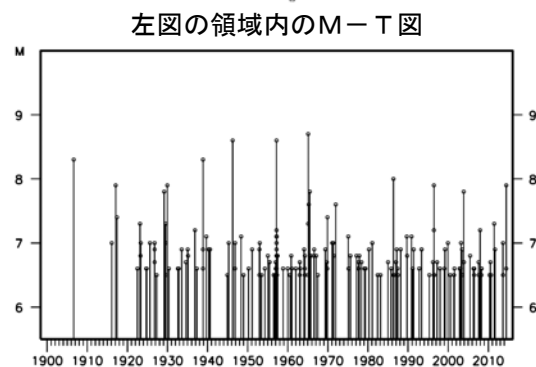
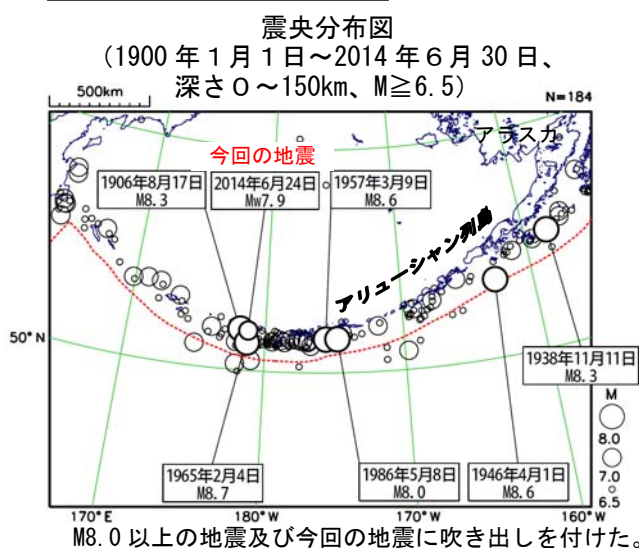
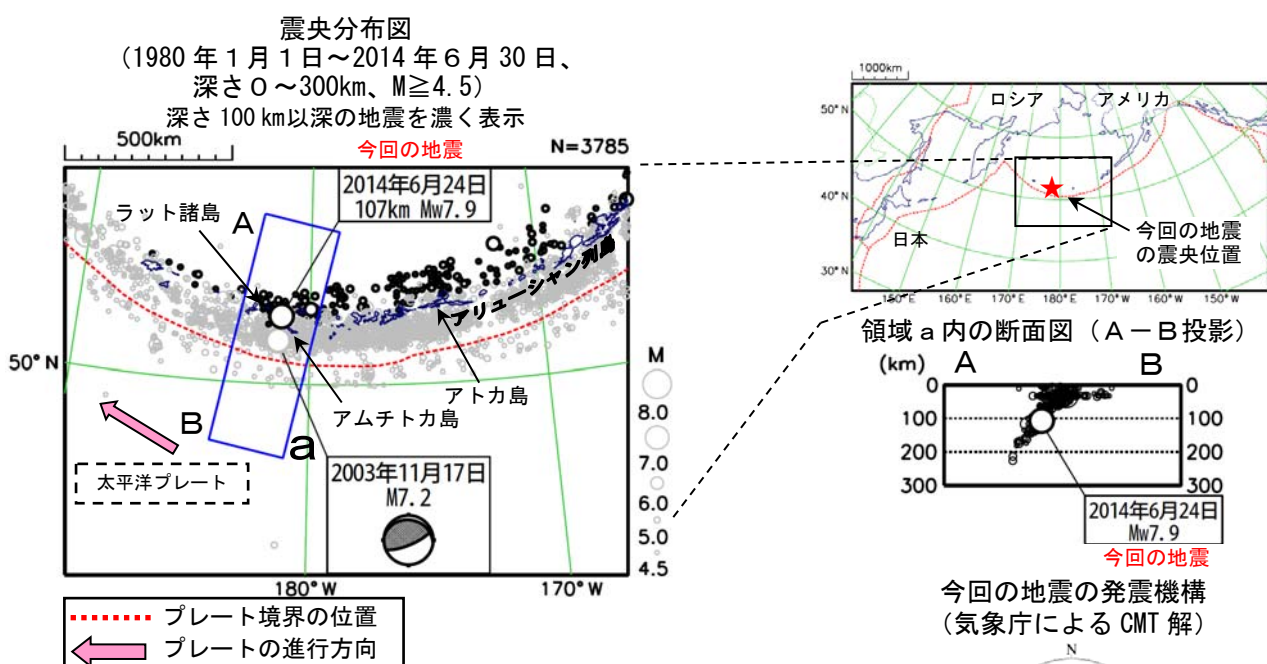
6月24日 アリューシャン列島ラット諸島の地震

2014年6月24日05時53分（日本時間、以下同じ）に、アリューシャン列島ラット諸島の深さ107kmでMw7.9の地震が発生した。今回の地震の震源付近は太平洋プレートが北米プレートの下に沈み込んでおり、今回の地震は、沈み込む太平洋プレートの内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震について、同日06時30分に遠地震に関する情報（日本国内向け、「日本への津波の有無について現在調査中です。」）を、同日07時31分には（この地震による日本への津波の影響はありません。）を発表した。

この地震により、米国アラスカ州のアムチカで17cm、アトカで12cm、米国ハワイ州のカフルイで10cmなどの津波と考えられる弱い海面変動を観測した。国内では、青森県八戸港（国土交通省港湾局）で10cm、北海道浜中町霧多布港（国土交通省港湾局）で8cmの津波と考えられる弱い海面変動を観測した。

1900年以降の地震活動を見ると、アリューシャン列島では、M8.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、1906年8月17日に今回の地震の震源付近でM8.3の地震が発生した。また、1965年2月4日にM8.7の地震が発生し、アリューシャン列島のシェミア島で10m、ハワイのカウアイ島北岸で1.1m、日本国内では八戸で48cmなど、太平洋沿岸で津波が観測された（「日本被害津波総覧」による）。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。2003年11月17日の地震の発震機構はGlobalCMTによる。その他の震源要素は、1900年から2009年までは国際地震センター（ISC）、2010年以降は米国地質調査所（USGS）による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（6月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

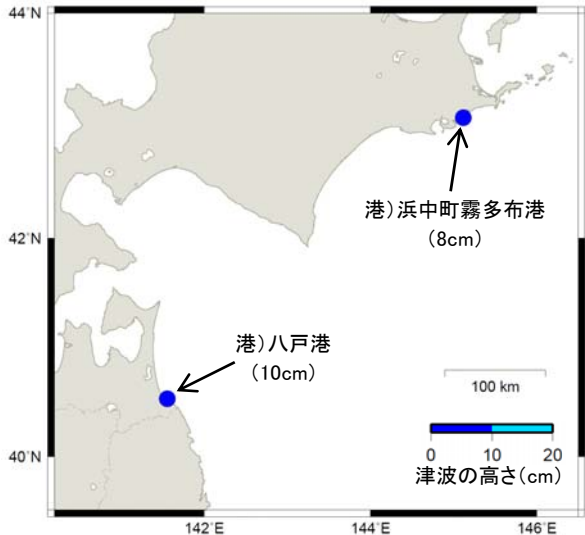
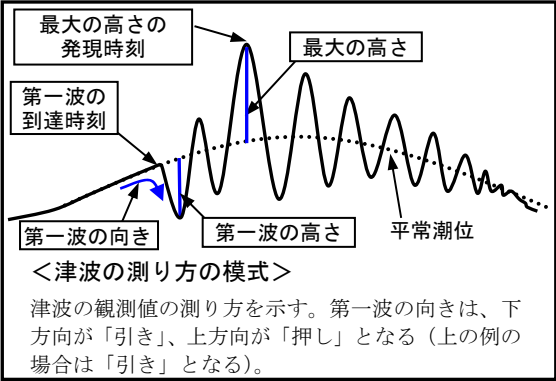
気象庁作成

津波の観測状況

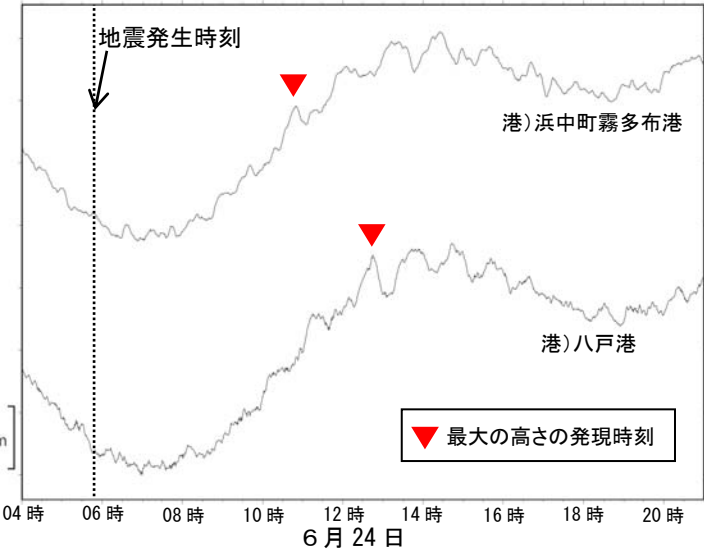
国内の津波観測施設の津波観測値

都道府県	津波観測施設名	所属	第一波		最大波	
			到達時刻	高さ(cm)	発現時刻	高さ(cm)
北海道	浜中町霧多布港	国土交通省港湾局	24日 ー	ー	24日 10:50	8
青森県	八戸港	国土交通省港湾局	24日 ー	ー	24日 12:45	10

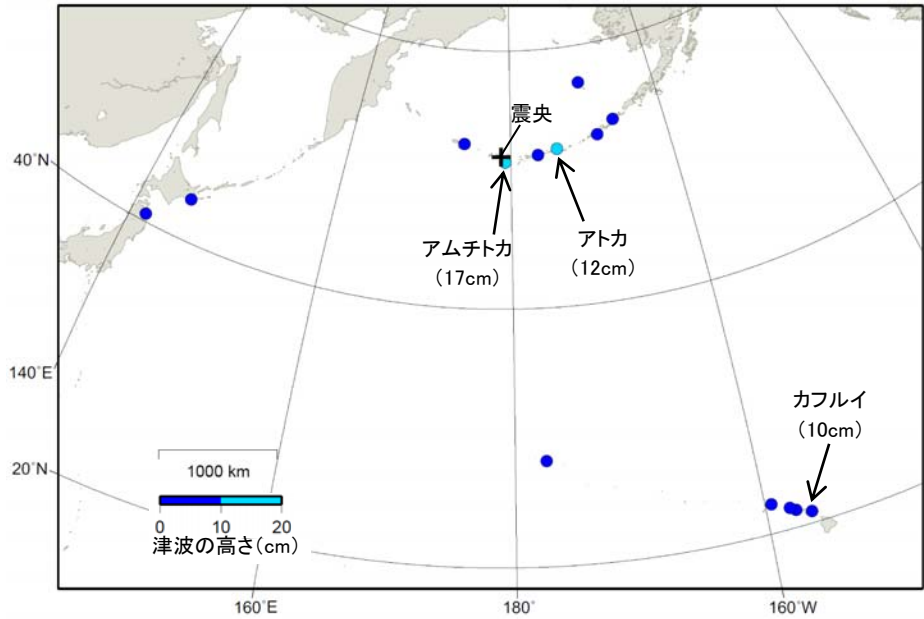
※観測値は後日の精査により変更される場合がある
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値
ー は、津波波形が明瞭でないため値が決定できないことを示す



国内の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ
※ 港) は国土交通省港湾局の所属であることを表す



国内の津波観測施設で観測した潮位波形



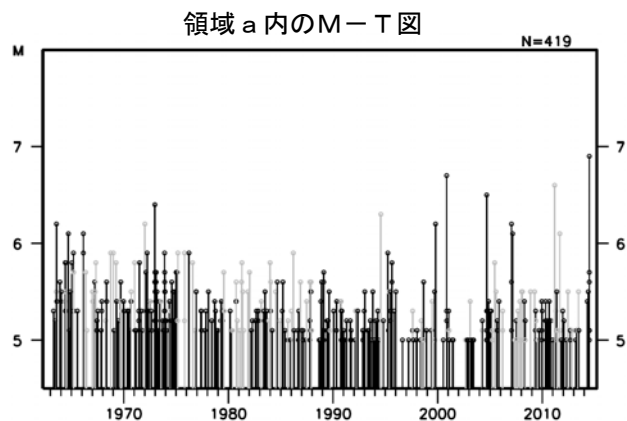
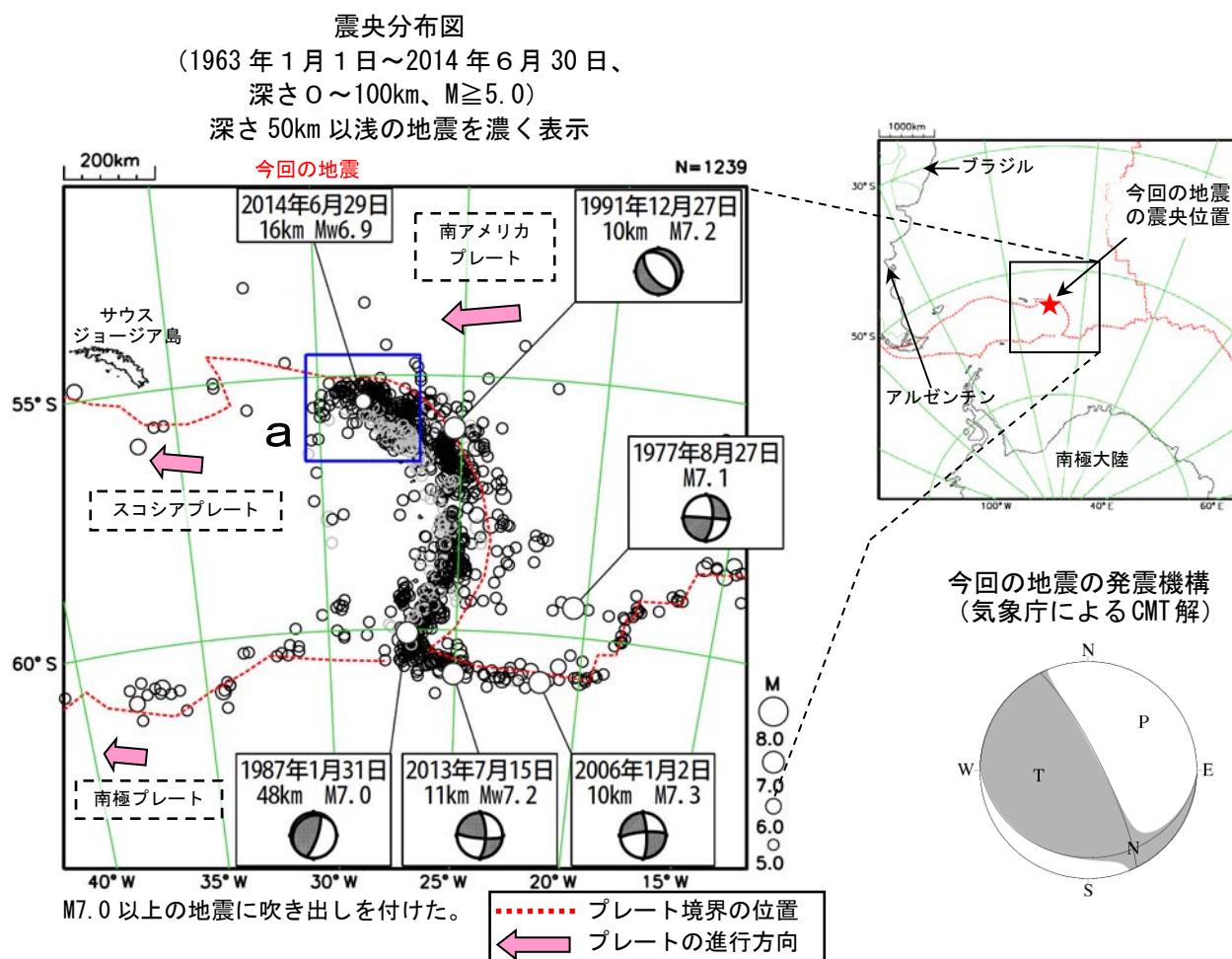
海外の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ
(最大の高さ 10cm 以上を観測した地点については観測施設名を表記)
※海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (7月4日現在)

6月29日 サウスサンドウィッチ諸島の地震

2014年6月29日16時52分（日本時間、以下同じ）に、サウスサンドウィッチ諸島の深さ16kmでMw6.9の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北東－南西方向に圧力軸を持つ型で、南アメリカプレートとスコシアプレートの境界付近で発生した。

気象庁は、この地震により、同日17時21分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の震央周辺（領域a）では、M6.0を超える地震が時々発生している。南アメリカプレートとスコシアプレートの境界に沿った海域では1987年1月31日にM7.0の地震、1991年12月27日にM7.2の地震が発生している。



※本資料中、今回の地震及び2013年7月15日の地震の発震機構（CMT解）とMwは気象庁による。その他の地震の発震機構（CMT解）はGlobalCMT、震源要素は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.